

歴代会長

初代	本橋 虎之助	6代	松本 寅吉	11代	松田 秀司	16代	吉光寺 久孝
2代	松本 錢蔵	7代	松本 六蔵	12代	荏原 松三	17代	伊藤 栄資
3代	松本 延太郎	8代	山内 薫	13代	市川 忠成	(平成15年4月～現在)	
4代	松本 寅吉	9代	大野 慎	14代	佐藤 政一		
5代	伊藤 益五郎	10代	市川 義明	15代	合田 宏		

現在の組織

会長の下に、副会長、会計部、庶務部、交通部、厚生部、防犯部、防火部、子ども部、会計監事を設置し、各部には部長、副部長を置いています。また町内を19の地区に分け、地区ごと理事、幹事を置き、組織の確立をはかり、一致協力し日々の業務を遂行しています。

町会の歴史

- 昭和2年 『中町会』 発起人10名で創設
- 昭和22年 GHQの命令により町会解散
- 昭和24年 『大和町中部文化協議会』 を結成（中町会再興の年としている）
- 昭和26年 名称を『大和町中町会』と改称…区内でもいち早くスムーズに町会の再建を果たす

町会活動

毎年5月に定時総会を開催し、前年度の決算報告、行事報告し、当該年度の予算の策定、行事の計画をしています。月初めには定例会を開き、前月の報告、当月の行事予定等を確認しています。安全で暮らしやすい地域づくりをめざし、会員相互の協力を得ながら活動をしています。

町会の現状と課題

役員、世話人、行事参加者の多くが同一人で更に高齢化してきています。（参加者不足）
予想される大災害への対応においては、確立した指揮系統のもと秩序ある行動が必要となります。そのための人材の確保とともに、普段の訓練が必要とされています。

活動内容（行政関係等への協力）

警察署、消防署、日赤、鷺宮支えあいネットワーク、大和区民活動センター、中野区社会福祉協議会等々に協力、町会連合会（中野区、大和町）、大和地区合同防災訓練、避難所運営会議等に積極的に参加しています。

活動内容（主として町会行事）

月二回の地域防災パトロール、初期消火訓練（木造住宅密集地域なので、防火対策としてスタンドパイプの配備充実を図っており、町会内に現在5台設置）、歳末警戒、敬老会並びに記念品贈呈、新入学児童祝い品贈呈、スイカ割大会、夏期ラジオ体操、お汁粉会、クリスマス会、スケート教室、環境美化活動、資源回収、春・秋の交通安全運動、親睦バス旅行、八幡神社まつりへの協力、家具類の転倒落下防止等の地震対策用の器具配布及び取り付け、防災訓練参加者に備蓄米・懐中電灯等配布、等々の取り組みをしています。



スタンドパイプを使った初期消火訓練